

平成23年度

# 事業報告書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

東京都千代田区有楽町一丁目1番3号

公益財団法人 日本交通文化協会

# 事業報告書

平成23年4月1日より平成24年3月31日までの事業概略を項目ごとにご報告申し上げます。

## 当協会の概況

まだまだ経済情勢の厳しい中、本年、当協会の主な事業として、育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

育英事業として第45期「瀧富士基金」奨学生及び第32期「国際瀧富士美術賞」奨学生に奨学金の給費及び貸与を行いました。また展覧会事業として「交通総合文化展 2011」を開催しました。

それからパブリックアート普及事業においては、JR坂戸駅を初めステンドグラスなどの6作品の設置・普及に協力してきました。

## 当期の特記事項

当期は、初めて財団法人日本宝くじ協会に公益法人等が行う公益事業への助成、「平成23年度パブリックアート普及事業」を助成申請しましたところ、1億4千万円の助成が認められパブリックアート4作品を設置致しました。

## 活動状況

次に現在までに実施しました当年度の主な活動内容を項目ごとに説明申し上げます。

### 1. 育英事業

#### (1) 【瀧富士基金】

「瀧富士基金」第45期奨学生の貸与生募集をしましたところ、本年は43名の応募がありました。

選考委員会を7月28日（木）に開き、厳正な審査の結果、28名の貸与生が新たに決まりました。また、貸与生のうち特に成績優秀な学生の中から貸与奨学金の全額または半額の返還を免除する給費生を3名〔全額2名・1/3額1名〕を選びました。また、貸与奨学金が増額される特待生を7名選考しました。

#### (2) 【国際瀧富士美術賞】

もう一つの育英事業である「国際瀧富士美術賞」第32期奨学生の第一次審査会を8月9日（火）に、第二次審査会を9月5日（月）に開き、厳正な審査の結果、国内12美大14名、海外7美大6名の計20名の受賞者を選びました。また、25周年を期して制定したグランプリ（瀧理事長賞）を引き続いて授与することとし、10月

24日（月）夜、東京會館で行われた授賞式において、特に優秀と認められた東京藝術大学の学生に通常の奨学金と合わせ、特別奨学金を贈呈して、その榮譽を讃えました。

2011年3月11日（金）東北地方太平洋沖地震によって尊い命が失われました。そして国土も津波によって傷つきました。まだまだ復興には時間がかかります。復興を少しでも支援する意味を込めて、今回特別に本美術賞では東日本復興支援特別賞を設け、東北芸術工科大学の学生に授与致しました。

## 2. 展覧会事業

### (1) 交通総合文化展 2011

「交通総合文化展 2011」を「10月14日 鉄道の日」の関連事業として、10月16日（日）～20日（木）の5日間、東京国際フォーラムガラス棟地下1階「ロビーギャラリー」で開催致しました。

「交通文化賞」の創設を記念して1954年（昭和29年）に発足した文化展は本年度で58回の歴史を刻みました。

交通総合文化展は、「写真」（新日本観光写真展及び日韓親善観光写真展を併設）、「書」、「俳句」の3部門からなっています。昨年に引き続き、会期中、多くの人に観覧していただき、盛況のうちに無事に終了する事ができました。

同時に開催された日本画、洋画、書の大家、中堅作家の新作展である「溯瀧会」に、日本画の鈴木竹伯先生（文化功労者）、洋画家の奥谷 博先生（文化功労者）、書の高木聖鶴先生（文化功労者）など有名作家の作品33点が展示されました。

### (2) 原宿ファッションジョイボード文化展

JR原宿駅道路側の大型看板16面を使って、JR原宿駅において“ブレイクサークル大腸がん撲滅キャンペーン”をテーマとした「原宿ファッションジョイボード文化展」を平成23年4月1日から平成24年3月31日まで開催致しました。

## 3. パブリックアートの普及・振興事業

### (1) パブリックアートの普及・振興

財団法人日本宝くじ協会は、公益法人等が行う公益事業への助成を平成23年度も実施することになり、本協会として「平成23年度パブリックアート普及事業」を申請しましたところ、助成が認められ、次の4箇所に作品を制作・設置致しました。なお、助成額は143,700千円です。

- ① 題 名 : 「四季桜樹」「高麗日月」
- 素 材 : ステンドグラス8面、5.6㎡
- 設置場所 : 東武東上線坂戸駅南北自由通路
- 作 家 : 広島市立大学名誉教授 倉島 重友先生
- 寄贈先 : 坂戸市に無償譲渡

委託契約費：47、000千円

- ② 題名：「空の守神」  
素材：ステンドグラス1面、26㎡  
設置場所：長崎空港ターミナルビル2階吹抜け部天井  
作家：クレアーレ熱海ゆがわら工房  
寄贈先：長崎空港ビルディング株式会社(長崎県第三セクター)に無償譲渡  
委託契約費：30、000千円
- ③ 題名：「森と海と人の賛歌」  
素材：陶板レリーフ1面、27㎡  
設置場所：東京都大田区総合体育館地下1階通路壁面  
作家：多摩美術大学 学長 五十嵐 威暢先生  
寄贈先：大田区に無償譲渡  
委託契約費：36、500千円
- ④ 題名：「雲上の岳神」  
素材：陶板レリーフ1面、20㎡  
設置場所：熊本空港ターミナルビル1階エントランス部壁面  
作家：日展評議員 高津 明美先生  
寄贈先：熊本空港ビルディング株式会社(熊本県第三セクター)に無償譲渡  
委託契約費：30、200千円

その他、東京電機大学に金属モニュメント「飛躍」を東京藝術大学学長 宮田 亮平先生と愛知大学に陶板レリーフ モニュメント「愛の塔」を日本画家 平松 礼二先生の制作に協力しました。

## (2) 「くれあーれ にゅーす」の発行

パブリックアートの普及を目的に、本協会とクレアーレ熱海ゆがわら工房を紹介するため「くれあーれ にゅーす」第7号を平成24年1月発行しました。

第7号は、洋画家 絹谷幸二夫先生、東京急行電鉄株式会社相談役 清水 仁氏、元NHKエグゼクティブアナウンサー山根基世氏にご出席いただき、滝 久雄理事長の司会・進行で「パブリックアート、より楽しく、より豊かに」をテーマとする座談会やクレアーレ作品並びにクレアーレ熱海ゆがわら工房の紹介などを掲載致しました。

## 4. 国際交流事業

### (1) 新日本観光写真展及び日韓親善観光写真展

この展覧会は、訪日外国人の皆様には日本の文化・芸術や観光地を紹介するため、交通総合文化展に併設、展示しました。

## (2) 国際アマチュア・ペア碁選手権大会

第22回、国際アマチュア・ペア碁選手権大会は、世界21カ国・地域の代表と国内各地区（8ブロック）の代表11組の計32組64名の参加を得て11月19、20日の両日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催し、結果は韓国代表ペアが中華台北代表を破り、3年連続6回目の優勝を果たしました。

一方、一般参加で人気を博している「荒木杯ハンデ戦」は棋力別3ブロックに分かれ、今年も目いっぱいの162組324名が出場しました。

なお、当日は本協会としまして、外国から参加された方のために、日本の文化・芸術を紹介する写真パネルを会場に展示し紹介に努めました。

以上